



愛は、いつか必ず子どもの心に

大龍小学校 校長 福田 裕生

寒風に耐えながら、柔らかな日差しを浴びて校庭の花々が優しく揺れ咲き、紅梅が鮮やかな色合いを添えています。立ち止まって挨拶できる子どもが増え、縄跳び大会に向けて練習に励む姿は躍動的で頼もしい限りです。

私事をお許してください。この3月末で37年間使い続け、絶対に手放せない品があります。37年前のこの時期といえば、大学卒業が決まり鹿児島県教員採用試験にも何とか合格し、4月採用に向けて少しずつ身の回りの準備をしている頃です。卒業コンパだの、就職祝いだのと毎晩のように友人や先輩と飲み明かす日が続いていた3月もいよいよ押し迫ったある夜、久々に家族5人揃って夕食を摂っていたときのことでした。

花柄の祝い紙に包まれた「それ」を、母が私に差し出し、第二人が「兄ちゃん就職おめでとう」と声を揃えたのです。当時、新商品として出始めたばかりの二つ折り式「ズボンプレス」でした。母は「父ちゃんと母ちゃんからの就職祝いよ」、父は「母ちゃんが、そい(=それ)がよかち(いいだろう)言うから…」と。茶の間での母の微笑みと、焼酎グラスを口に当てながら微笑み返す父、その光景をまじまじと見ながらご飯をかき込んでいる第二人の姿が、今でも脳裏に焼き付いています。

気が付けば、それ以後、ズボンプレスはいつも一緒です。知覧町から始まり始良町、兵庫県、金峰町、スイスチューリッヒ、加治木町、鹿児島市、奄美大島宇検村、志布志市そして鹿児島市へ。ロック用のフックが二つとも折れはしたものの通電状況もプレス状態も全く問題ありません。二つ折りに挟んだズボンを、中板の柔らかな温熱でじっくりとプレスするのです。フックが壊れている分、ズボンを挟む圧力は弱まっていますが、折り目だけは今でもキチッと付けてくれます。

若さだけの熱血で突っ走っていた時代のことも、時に仕事に疲れ果て、時に失敗に悔し涙を流したあの日も、このズボンプレスは部屋の片隅で私の息づかいや仕事ぶりを感じていたに違いありません。くたびれたズボンを挟んでは、キチッと折り目を正し続けているこの品は、いつの頃からか無くてはならない私の相棒になっているのです。やる事がうまくいかずに気分が萎えていても、大仕事を前に意気が怯みかけていても、調整作業がうまくいかず板挟みになり悶々としていても、この相棒がやんわりとした優しい温もりで時間をかけて「折り目を正して」くれるのです。その折り目を見れば、どういう訳か自然と気分が整い、足を通したその瞬間にその日の一歩が気持ちよく踏み出せるのです。

仕事柄、職に就いてから両親と一緒に生活することができませんでした。母が他界して31年、父が他界してやがて2年。37年前のちょうどこの時期、両親はありったけの愛をこのズボンプレスに託し、独り立ちしていく22歳の私に贈ってくれたに違いありません。つい先日、「いつもお母さんとお父さんが『折り目を正して』くださっていると思うよ。」と妻からの一言。グッと胸に迫ったその言葉を噛みしめながら、果たして自分はその愛に応えるだけの仕事や子育てをしてきたのだろうか、自戒の念に駆られます。

「言うことをちっとも聞いてくれない、親の思うようには育っていない。」と歯痒い思いになる時もあるでしょう。試験の可否通知に感情が強く揺れ動くこともあるでしょう。いつの時代も、どの親も、そういう思いを経験しながら親自身も育ってきているのです。学年が終わろうとする今、ぜひ子どもに顔を近づけて、つぶらな瞳をじっと見つめてみてください。夢や希望が更に膨らんだり、沈んだ気持ちを切り替えたりできるのも、ありのままを受け止めてくれる親のまなざしと背中をポンと押す一言だと思います。この子が誕生したあの日の喜びと愛おしさが甦ってくるはずです。

“親の愛は、いつか必ず子どもの心に届く”と信じています。真の幸せは、少し遠くにあるのかもしれませんが。温かな春が、一回り成長して進学・進級する子どもたちを、静かに待っています。

小さな命をも “敬愛する心”

つい先日のことです。5時間目が始まる頃、女の子が手に小さな花を持って校長室に来ました。「校長先生、入ってもいいですか。謝りたいことがあります。」と。「どうしたの? どうぞ。」と入室を促すと小さな花を差し出し、「学級園の草取りをしているときに、咲いている花を間違っ



って折ってしまいました。ごめんなさい。」と目を潤ませているのです。その冷たくなっている土まみれの手には、白い花弁を広げた小さな花が…。何といういじらしさよ! 私の目が潤んでしまいそうでした。「そうだったのね。一生懸命草取りをしてくれたんだね。夢中で取っているうちに、つい花を掴んでしまったんだね。大丈夫だよ。心配しないでいいよ。」と、その小さな白い花を、校長室の花瓶に差しました。たとえ小さくても可憐に生きている命を敬愛する心が、この子の自責の念を強め、心を震えさせていたのです。寒風で冷え切った身体が、心の芯からポッと温かくなった瞬間でした。

「特別の教科 道徳(道徳科)」について

本校では今、2020年度から始まる新しい学習指導要領の完全実施に向け、移行措置の取組を試行しています。前述「小さな命をも“敬愛する心”」をもつ子どもたちを育てるため、これまで行ってきた道徳の授業については、本年度から「特別の教科 道徳(道徳科)」として実施しています。11月の日曜参観では全校一斉に道徳の授業を行い、その様子を観ていただきました。



日曜参観の道徳授業の様子

『「特別の教科 道徳」って何?』『これまでと何が変わったの?』と思われる方が多いのではと思います、今回「特別の教科 道徳(以下道徳科とします)」について簡単にまとめてみました。

【道徳教育充実が求められる背景】

- ・ 深刻ないじめの本質的な問題に向き合う必要がある。
- ・ 決まった正解のない予測困難な時代を生きなければならない。

自らの人生や社会における様々な問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、「納得解」(自分が納得でき周囲の納得も得られる解)を得るための資質・能力が求められます。

【道徳の「特別の教科」化とは?】

道徳は、学級担任が担当することが望ましいと考えられること、数値などによる評価はなじまないと考えられることなど、各教科にない側面があるため、「特別の教科」という新たな枠組みを設け、位置付けられことになりました。

【道徳科の授業はこれまでの道徳からどう変わる?】

これまでの道徳の授業は、ややもすれば読み物資料の登場人物に同化して共感する心情理解に終始することに陥りがちでした。

道徳科の授業では、登場人物に共感しながらも、自分自身と照らしながら「自分ならどうするか」を考えたり想像したりしてねらいとする道徳的価値を考え、物事を多面的・多角的に考えさせる授業を行います。そして他者の多様な考え方や感じ方に出会うことで、自分自身の考え方や感じ方がさらに明確になるよう「議論する場」を設定します。

【道徳科の評価は?】

道徳科の評価は学習状況と児童の道徳性に係る成長の様子を、道徳ノートやワークシート、担任が記録した授業の取組状況をもとに、数値での評価ではなく、成長を励ます評価(記述式)で行います。

本校では、今、児童の道徳性を育むために、答えが一つでない課題に、子どもたちにしっかりと向き合わせ、「考え、議論する」道徳科の授業をより充実させる取り組みを推進中です。

「わくわく・ドキドキ」1月の学校生活風景

◇ 食育の授業（6年）

1月18日（金）に、司厨士協会の方々が本校6年生児童に食育授業をしてくださいました。食育の話や味覚についての話など、様々なことを丁寧に教えてくださいました。また、給食時には、司厨士の方々（一流シェフ）が準備してくださった料理をごちそうしてくださいました。子どもたちは、「とってもおいしい！」「幸せです！」など大満足の様子でした。今回の授業を通して学んだことを大切に、これからの生活に生かしてほしいと思います。



◇ 火災を想定した避難訓練

1月30日（水）に火災を想定した避難訓練を行いました。今回の訓練は、子どもたちには事前に知らせずに行いました。大龍小学校では、「お・は・し・も・ち」という合言葉のもと適切な避難行動がとれるように指導しています。上町分遣隊の方々が、消火体験や消防車の放水の様子などをもとに指導してくださいました。煙に含まれる一酸化炭素の話があり、一呼吸だけで意識がなくなるという話を聞いて、もし逃げ遅れたり火事の現場に戻ったりしたらと想像すると、ドキッとしました。子どもたちは真剣なまなざしで話を聞き、訓練に取り組みました。



ある6年生の日記から

「学校だよりを読んで」

学校だより(12号)『うま味』をつくる』を読んだ。傷のあるリンゴを人に例えていた。傷のあるリンゴは一見見た目は悪く、人気もないが味は傷のないピカピカのリンゴよりも美味しいということだ。自分の傷を補おうと、リンゴ自体が努力し、『うま味』がつくられるそうだ。人間も、何もない人生より辛いことも悲しいことも乗り越え、失敗・挫折を味わった人生ほど『うま味』がつくられるのだと思った。『うま味』をより深くつくり上げていきたい。

保護者の方のコメント

心に響く文章だったね。あなたも沢山の経験を通して、あなただけの『うま味』を作り上げてください。

「できるようになったよ！」なわとび大会

なわとび大会に向けて、毎朝、運動委員会の子どもの呼びかけでなわとびに取り組みました。朝学校に来た子どもたちは早速校庭に出て、一分間跳びや二重跳び、あや跳びや交差跳びなど様々な跳び方にみんな一生懸命取り組んでいました。参加した子どもたちは、「気持ちいい。」「次は1位になるぞ！」と楽しそうでした。朝のこにこタイムでは、全校児童で縄跳びを行いました。跳び方のコツや1分間跳びなどを行った後、「いろいろな技の紹介」の時間を設定し、後ろ二重跳びやあや二重跳び、交差二重跳びやサイドクロス二重跳び、三重跳びなど高度な跳び方のできる児童がその技を披露しました。



そして、学年ごとのなわとび大会本番当日。1分間跳びのチャレンジやできるようになった技を保護者の方々に披露し、これまで頑張ってきた練習の成果を発表することができました。頑張った後の子どもたちの満足顔がとてすてきでした。



参観してくださった2年生の保護者の方から次のような温かいコメントをいただきましたので御紹介します。

学校の雰囲気がとても明るくて、大龍小のことがいろいろなところで話題になり取り上げられるのは親としてうれしいです。子どもも先生方もにこやかで、環境がすごく整っていると思います。こんな学校に通わせることができてありがたいです。

子どもたち一人一人の頑張りに拍手！

2学期の後半からも、子どもたちの頑張りで多くの受賞がありました。個人の受賞に加え、金管バンド、スポーツ少年団等の団体も輝かしい成績を残しましたので紹介します。

<個人>

【全国書画展覧会】

特選 5年 堀 珠貴

【第62回J A共済小中学生書写コンクール半紙の部】

佳作 5年 堀 珠貴

【第20回南九州市かわなべ青の俳句】

入選 3年 永江 蓮 4年 上橋 一心

【第3回南さつま「いろは」まごころ短歌大会】

入選 3年 香月 里菜

【第66回鹿児島県発明くふう展】

優秀賞 5年 胡摩 遼汰郎

【ひろがれ絵手紙コンクール】

入選 6年 中原 結衣

【T-1グランプリ in 鹿児島】※お茶の入れ方等を競う大会

準優勝 6年 前田 まりあ, 金子 茉央, 滝沢 小夏

<団体>

○ 金管バンド

第45回県吹奏楽アンサンブルコンテスト

ソロ 銀賞 5年 倉野 真桜 宮原 希生

アンサンブル 金賞 (県代表 九州大会出場)

6年 宮崎 千夏, 下野 陽向子, 原口 春奈

高橋 叶愛, 切原 すみれ, 星原 椿

5年 湯田 小遥, 本山 夏帆

○ バレーボールスポーツ少年団

市ソフトバレーボール冬季大会

A 4年男女パート 優勝

B 3・4年男女パート 第3位

C 2・3年男女パート 準優勝

学校薬剤師の白男川先生が受賞されました

大龍小学校の学校薬剤師、白男川賢治先生が、1月23日に行われた平成30年度鹿児島市学校保健フォーラムで、学校薬剤師表彰を受けられました。先生には、本校の学校保健委員会での指導や子どもたちの薬物乱用防止教室で御尽力いただき、これらを含め多くの功績が認められての受賞です。おめでとうございます。

2月・3月の主な行事予定

【2月】

- 1日(金) P T A あいさつ運動、
こにこタイム (2/6まで、なわとび大会に向けての練習)
第2回スクールゾーン委員会
- 2日(土) P T A 資源リサイクル運動② ※ 3日(日)予備日
- 4日(月) 全校朝会、I S O 強調週間(～8日)
五校あいさつ運動(～8日)
- 6日(水) なわとび大会
- 7日(木) N H K 見学(5-2)、京セラ出前授業(6年)、委員会活動⑭
- 8日(金) 歯の日、安全の日、ベルマークの日、N H K 見学(5-1)
- 9日(土) 土曜授業、九州アンサンブルコンテスト(金管バンド)
- 10日(日) 第1回大龍校区「立志の集い・かんまちっ子」健全育成大会
- 11日(月) ● 建国記念の日
- 12日(火) 劇団四季観劇(午後：6年生)
- 13日(水) 入学説明会
- 14日(木) 九電出前授業(6年)
第2回学校保健委員会、第2回給食委員会
- 15日(金) 交流の日、薬物乱用防止教室(6年)
お茶とのふれあい事業(5年)
金管バンド定期演奏会(県民交流センター13:00～)
- 17日(日) 歩こう会(長田町)
- 18日(月) 特活朝会(2・4・6年プチ自慢)、第6回P T A 理事会
- 19日(火) 食育の日、第2回大龍小幼・保・小連絡会
- 20日(水) 県下一周駅伝(応援)
- 21日(木) 共立幼稚園との交流会(1年)、委員会⑮(代表・児童保健)
- 25日(月) 音楽朝会、創立記念式(135周年)
第2回学校評議委員会
- 26日(火) 授業参観・P T A 懇談会(低学年)
- 27日(水) 授業参観・P T A 懇談会(中学年)
- 28日(木) 授業参観・P T A 懇談会(高学年)

10:25～11:25
大龍小体育館
講師：大龍小卒業生2人
お気軽にお越しください。

【3月】

- 1日(金) お別れ遠足・6年生を送る会、P T A あいさつ運動
- 4日(月) 全校朝会、I S O 強調週間(～8日)
- 5日(火) 学級タイム、卒業式練習①(3校時)
- 6日(水) 同窓会入会式(6年)、亡師・亡友慰霊祭(6年代表)
- 7日(木) 卒業式練習②(3・4校時)、委員会活動⑯(反省)
- 8日(金) 歯の日、安全の日、ベルマークの日、5年方言教室
- 10日(日) 歩こう会(冷水町)
- 13日(水) 卒業式練習③(予行5・6校時)、長田中・清水中 卒業式
- 15日(金) 交流の日
- 18日(月) 卒業式練習④(3校時)
- 19日(火) 食育の日、清水中出前授業(6年)
- 20日(水) 卒業式準備
- 21日(木) ● 春分の日
- 22日(金) 第132回卒業式
- 25日(月) 修了式
- 27日(水) 離任式、大龍小P T A 送別会



2月のめあて

- 保健：教室の空気をきれいにしよう。
- 給食：食事の後片付けをきちんとしよう。
- 生活：立ち止まって、はっきりとした声であいさつしよう。

